

安全データシート (SDS)

1. 製品名及び会社情報

会社情報 会社名 アルプス株式会社
住所 東京都新宿区早稲田南町33
緊急連絡先 電話番号 03-3207-0006
FAX 番号 03-5272-0051

製品名 アルプス TFF テープ・アルプス TFE テープ
アルプス TCF テープ・アルプス TCE テープ

2. 危険有害性の要約

GHS 分類：分類基準に該当しない。
(本製品は「成型品」であり、SDSの作成が必要な「化学製品」には該当しない。)
危険性：該当なし
有害性：該当なし
環境影響：該当なし

3. 組成及び成分情報

物質名：熱硬化性樹脂化粧板
成分及び含有量：

成分名	含有量
紙基材	55～65 wt %
ジアリルフタレート樹脂 (硬化物)	35～45 wt %
アクリル樹脂 (粘着剤)	0～5 wt %

(注) 官報公示整理番号 (化審法、安衛法)：該当なし
CAS No.：該当なし、国連分類及び国連番号：該当なし
製品の種類により含有量の比率が変わります。
塩素化合物及び重金属類は含有していません。

4. 応急措置

粉体が目に入った場合：直ちに多量の清浄な流水で瞼の裏まで完全に洗眼し、必要に応じ医師の診断を受けること。
粉体が皮膚に付着した場合：石鹼水又は多量の水で洗い流すこと。
粉体を吸入した場合：清浄な水でうがいをし、必要に応じ医師の診断を受けること。
粉体を飲み込んだ場合：清浄な水でうがいをし、必要に応じ医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火方法：一般プラスチック火災と同様に発生煙を吸入せぬよう適切な保護具 (マスク、耐熱性着衣など) を着用して作業すると共に、風下の人を退避させる。
消火剤：水・霧・泡・化学消火剤で消火する。

6. 漏出時の措置 該当なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い：保護具を着用し、加工時等に飛散する微粉末を吸い込まないようにする。また、端面は鋭利なため、手などにケガをしやすいため保護手袋を着用して取り扱う。
(粉塵は可燃性のため、金属の粉塵と区別し、粉塵爆発対策を行う。)

保管上：製品が変形したりキズがつかないように保管する。雨水に濡らしたり、直射日光にさらしたりすることは避け、常温常湿の屋内で水の濡れない場所に保管する。地面やコンクリート床面への直置きは避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：該当なし

許容濃度：日本産業衛生学会；該当なし

ACGIH；該当なし

設備対策：加工時には粉塵が発生するため、局所排気装置を設置し、作業中は有効に作動させる。

保護具：呼吸用保護具；防塵用マスク等を着用する。

保護眼鏡；側板付普通眼鏡等を着用する。

保護手袋；軍手、布製手袋等を着用する。

保護衣；作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観：板状成形体（固体）

比重（20℃）：約1.2

揮発性：該当なし

溶解度：水に不溶

10. 安定性及び反応性

引火点：なし

発火点：300℃以下では認められない。

爆発限界（上限、下限）：なし

可燃性：あり

発火性（自然発火性、水との反応性）：なし

酸化性：なし

自己反応性、爆発性：なし

安定性、反応性：化学的に安定

11. 有害性情報

皮膚腐食性：現在のところ知見なし

刺激性（皮膚・眼）：現在のところ知見なし

感作性：現在のところ知見なし

急性毒性（50%致死量等含む）：現在のところ知見なし

亜急性毒性：現在のところ知見なし

慢性毒性：現在のところ知見なし

がん原性：現在のところ知見なし

変異原性（微生物、染色体異常）：現在のところ知見なし

生殖毒性：現在のところ知見なし

催奇形性：現在のところ知見なし

12. 環境影響情報

分解性：現在のところ知見なし

蓄積性：現在のところ知見なし

魚毒性：現在のところ知見なし

13. 廃棄上の注意

可燃性として焼却可能ですが、法的基準を満たした焼却場にて焼却する。

焼却灰については、産業廃棄物として処理する。

廃棄する場合は、産業廃棄物として処理し、原野、河川等に不法に投棄してはならない。

14. 輸送上の注意

危険有害性のない製品に分類され、安全上問題はないが、直射日光にさらしたり、水に濡れたりしないようにする。

商品名：アルプス TFF テープ・アルプス TFE テープ・
アルプス TCF テープ・アルプス TCE テープ

作成日：2015年11月5日

15. 適用法令 日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」の分類基準に掲げられる諸法令の適用を受けない。

16. その他の情報

「記載内容の取り扱い」

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。また、注意事項は通常の場合を対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。